社会科中高一貫学習指導アウトライン

学習指導方針

・社会への関心をもち、理解し、国際社会の一員として社会と関わっていく力を育てる。

・中高一貫校の特徴を生かし、中１・中２では高校地理・日本史の学習内容を一部取り入れて総合的に指導する。また、中３から高１にかけて中学「公民的分野」と高校「現代社会」の継続的な学習を実施する。

指導計画

中１	地理的分野(日本・世界) □高校地理の学習内容を考慮して、日本や世界各国それぞれの地理的特性と地域間の関連の知識を深める。また、地図や資料を適切に活用し、地理的な事象を把握し、考察する力を養う。
中２	歴史的分野(日本・世界) □高校日本史の学習内容を考慮して、日本の各時代の特色を理解し、歴史的事象や文化への関心を高める。また、歴史上の人物や文化遺産を考察し、各時代の生活や考え方への興味・関心を高める。
中３	公民的分野　→　(現代社会) □中学公民と高校の現代社会を継続的に履修することにより体系的な知識を身に付けるとともに公民としての基本的資質を養成する。
高１	現代社会　→　世界史Ａ □「現代社会」を１学期で終了し、２学期から「世界史Ａ」を履修する。
高２	文系　世界史Ａ　及び 日本史Ｂまたは地理Ｂ 理系　日本史Ｂまたは地理Ｂ □各科目の基礎的知識を定着させるとともに探求する能力を養成する。
高３	文系 文Ｉコース　倫理または政治・経済 医難文系コース　倫理及び政治・経済 文Ｉ・医難文系コース共通 世界史Ｂ、日本史演習、地理演習から１科目選択 理系　理Ｉ・医難コース共通 日本史Ｂ、地理Ｂ、倫理/政経から１科目選択 □センター試験、個別試験に向けて、演習授業を中心に行い、問題解答能力を高める

（１）中学の年間授業時数

	本校の年間授業数	公立の指導内容と配当授業時数
中１	１４０時間	（地理的分野）１２０単位時間
中２	１４０時間	（歴史的分野）１３０単位時間
中３	１４０時間	（公民的分野）１００単位時間

※本校では合計 420 時間を確保しており、学習指導要領に定められた標準授業時数よりも 70 時間多く社会科の授業を実施している。

（２）中学３年間の学習計画

	１学期	２学期	３学期
中１	←→ １年の学習内容（地理的分野＝高校地理とリンク）		
中２	←→ ２年の学習内容（歴史的分野＝高校日本史とリンク）		
中３	←→ ３年の学習内容（公民的分野＝現代社会とリンク）		高校 現代社会

※中学３年次に外部講師による「租税教室」や「独占禁止法教室」を開講している。

※高１では必履修科目である「現代社会」と「世界史Ａ」を学習する。

※高２から文系・理系に分かれ、「地理歴史科」の科目選択については生徒の進路志望に即して適切に対応している。

※高校２年３月の春期講習から全ての科目で入試問題対策を実施する。

※大学進学に向けた指導では各科目別に入試問題の解法を含めた高いレベルの指導を行い、高校３年次ではセンター試験対策を中心に二次(記述・論述)対策や小論文対策など多岐にわたる受験指導を適切に実施する。

↓

第一志望校への現役合格をサポートする。